

パソコンまるごと 完全抹消

取り扱い説明書

ユーザー登録はこちら
<http://www.de-net.com/pc>

DE-158

製品ご利用前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。
※本書および、シリアルナンバーを再発行することはできません。

目次

動作環境・その他（免責事項や注意事項など）	02
パソコンをまるごと完全抹消する	03～25
Q & A	26
ユーザーサポート	裏表紙

動作環境・その他

動作環境

対応 PC メーカーサポートを受けられるパソコン (PC/AT 互換機)

※ハードディスクが正常に動作している環境が必要です。

※NEC PC98-NX シリーズ、Macintosh では動作しません。

CPU Pentium II 以上

メモリ 128MB 以上 /256MB 以上推奨

ディスプレイ 1024×768 以上の解像度で色深度 16bit 以上表示可能なもの

CD-ROM 正常に動作する CD-ROM から起動可能なドライブ

ハードディスク 正常に動作するキーボード

その他 ※ワイヤレス接続のキーボードの場合には、キーボードを認識できない場合があります。ご注意ください。

ご注意

ソフトに関するご注意

※BIOS及び本ソフトで認識可能なディスク・メディア内のデータを抹消することが可能です。

本ソフト上で表示される容量を必ずご確認の上ご使用下さい。

メディア単位のデータを抹消します、ファイル単位での抹消はできません。

ディスクに異常箇所がある場合、異常部分のデータを抹消することができない場合があります。

また、物理的にアクセスできなくなっているディスク上のデータを抹消することはできません。

※本ソフトで抹消したデータを復元することは出来ません。作業の際には十分にご注意ください。

※Linuxが起動しない一部のPCや、Linuxの漢字コンソールが使用できないビデオドライバを使用しているPCではソフトが使用できないことがあります。

※Linuxが認識しない接続のディスク・メディア、プロテクトが行われているディスク・メディアは消去できない場合があります。

※各ディスク・メディア内のデータは完全に抹消されますので、抹消後に再度使用する場合はフォーマットが必要になります。

※BIOSの設定で省電力モードが有効になっている場合、作業中にハードディスクやモニタへの電源が供給されなくなる場合がありますので、省電力モードを無効の設定にしてから本ソフトをご使用ください。

その他ご注意

※個人の方は何回でもご利用いただけます。ただし法人で11台以上のパソコンでご利用の場合は、法人向けのライセンスが必要になります。ライセンス販売については、弊社ユーザーサポートまでお問い合わせ下さい。

※その他ご不明な点などはパッケージ裏面のユーザーサポートまでお問い合わせください。

ユーザーサポートの通信料・通話料はお客様の負担となります(サポート料は無料です)。

本ソフトの動作以外のご質問や各種専門知識などのお問い合わせには、お答えできない場合があります。

また、お問い合わせ内容によっては返答までにお時間を頂くこともあります。予めご了承ください。

パソコンをまるごと完全抹消する

1. パソコンまるごと完全抹消をCD-ROMから起動する

パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

Windowsが起動しましたら、CD-ROMドライブにCD-ROMをセットして、パソコンの再起動を行ってください。

※CD-ROMから起動できない場合は、起動可能な設定にBIOSを設定してください。

設定方法や詳細等については、お使いのパソコンのメーカーにお問い合わせください。

※CD-ROMドライブを長期間使用されていない場合は本ソフトウェアをご使用前にクリーニングを行ってください。

※CD-ROMで起動する際には、それぞれの優先起動順位が最優先になっている必要があります。

パソコンまるごと完全抹消が起動されると以下のメッセージが表示されます。

自動でソフトが起動しますので、以下のメッセージが表示されるまでお待ちください。

```
*****  
パソコンまるごと完全抹消 ver 3.00j  
*****  
入力>> [Y]実行 [N]終了
```

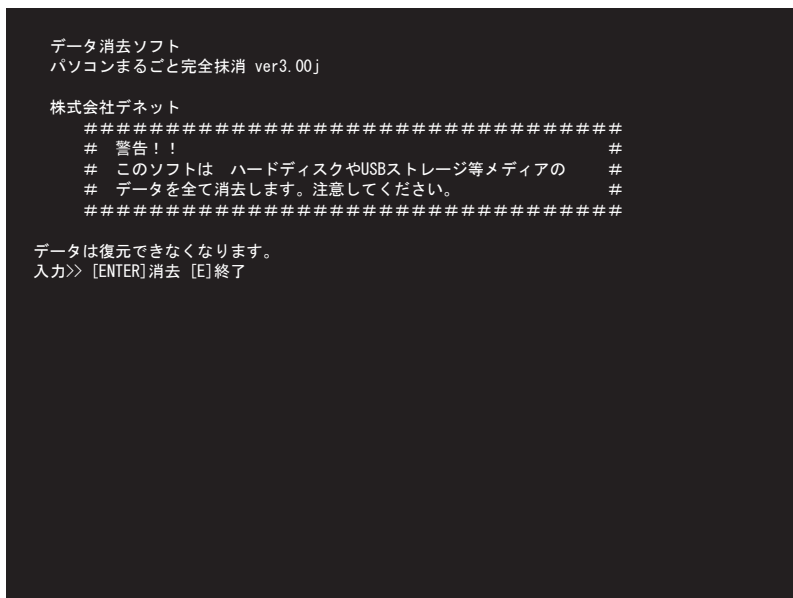
パソコンまるごと完全抹消を実行するにはキーボードの[Y]を押します。

パソコンまるごと完全抹消を終了するにはキーボードの[N]を押します。

パソコンをまるごと完全抹消する

2. 消去確認画面の内容を確認する

[1.パソコンまるごと完全抹消をCD-ROMから起動する]で[Y 実行]を選択すると、以下のような画面が表示されます。



消去する場合はキーボードの[ENTER]を押します。

終了させる場合はキーボードの[E]を押します。

パソコンをまるごと完全抹消する

3. 完全抹消するディスク・メディアを選択します

[2.消去確認画面の内容を確認する]で[ENTER 消去]を選択すると、以下のようなメッセージが画面に表示されます。

```
消去する対象ディスク・メディアを1つ 1から9の数字キーから選択してください。
[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] 1G1210 CF (31MB)
入力>> [ENTER = 1] [E] 終了
```

パソコンに接続されているディスク・メディアのモデル名、容量が表示されます。キーボードの数字キー（[1]～[9]）を押して、消去対象のディスク・メディアの選択をします。[ENTER]を押した場合、キーボードの数字キー[1]を選択した事になります。終了する場合はキーボードの[E]を押します。

パソコンをまるごと完全抹消する

4. クリップの保護領域の削除の有無を設定します

クリップとは・・・

ハードディスク内にあるOSから認識できずユーザーが編集、管理できない領域で、メーカー側が保護している領域のことです。その領域には、個人情報やリカバリ等が入る場合があります。パソコンまるごと完全抹消はその保護された領域を完全に消去することができます。ハードディスクの全容量を消去することが情報漏洩の防止、個人情報の保護につながります。また保護領域だけを残すこともできます。

[3.完全抹消するディスク・メディアを選択します]で完全抹消するディスク・メディアを選択し、完全抹消するディスク・メディアがクリップされていれば、クリップの保護領域を削除するか否かを選択するメッセージが画面に表示されます。

※クリップされていない場合は、このメッセージは表示されません。

7ページの[5.完全抹消方法を設定する]へお進みください。

消去する対象ディスク・メディアを1つ 1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)

[2] IC1210 CF (31MB)

入力>> [ENTER = 1] [E] 終了

このハードディスクはクリップされています

[1]クリップで保護されている領域も削除する

[2]クリップで保護されている領域は削除しない

入力>> [E] 終了

クリップで保護されている領域も削除する（クリップで保護している領域もすべて削除する）場合はキーボードの[1]を押します。

クリップで保護されている領域は削除しない（クリップで保護している領域以外はすべて削除する）場合はキーボードの[2]を押します。

終了させるならキーボードの[E]を押します。

パソコンをまるごと完全抹消する

5. 完全抹消方法を設定します

[3.完全抹消するディスク・メディアを選択します]で完全抹消する対象のディスク・メディアを選択、または[4.クリップの保護領域の削除の有無を設定します]で設定すると、以下のようなメッセージが画面に表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを1つ 1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 CF (31MB)
入力>> [ENTER = 1] [E]終了

実行する消去方法を選択してください。

[1]簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)
[2]推奨方式 (DoD方式-米国国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)
[3]他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1]or [ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3] 他の方法を選択 [E]終了

実行する消去方法をキーボードの数字キー（[1]～[3]）で選択します。

簡易消去を選択する場合はキーボードの[1]を押します。（8ページの手順に続きます）

推奨方式を選択する場合はキーボードの[2]を押します。（10ページの手順に続きます）

他の方法を選択する場合はキーボードの[3]を押します。（11ページの手順に続きます）

終了する場合はキーボードの[E]を押します。

キーボードの[ENTER]を押すと、キーボードの数字キー[1]を選択したことになります。

パソコンをまるごと完全抹消する

6. 各完全抹消方法の操作手順

簡易消去の場合 消去データ上書きパターンの選択をします

[5.完全抹消方法を設定します]で[1 簡易消去]を選択すると、以下のようなメッセージが画面に表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを1つ1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)

[2] 1G1210 CF (31MB)

入力>> [ENTER = 1] [E] 終了

実行する消去方法を選択してください。

[1]簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)

[2]推奨方式 (DoD方式-米国国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)

[3]他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)

入力>> [1]or [ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3] 他の方法を選択 [E] 終了

簡易消去のデータを選択してください。

入力>> [1]or [ENTER] 0x00 [2] 0xFF [3] 0xE5 [4] 0xF6

簡易消去とは、選択した固定数値で上書きする消去方法です。

上書きする固定値を選択します。

0x00を選択する場合はキーボードの[1]を押します。

0xFFを選択する場合はキーボードの[2]を押します。

0xE5を選択する場合はキーボードの[3]を押します。

0xF6を選択する場合はキーボードの[4]を押します。

キーボードの[ENTER]を押すと、キーボードの数字キー[1]を選択したことになります。

パソコンをまるごと完全抹消する

簡易消去の場合 消去パターンのサイクル数の設定をします

[簡易消去の場合 消去データ上書きパターンの選択をします]で消去データ上書きパターンを選択すると、以下のようなメッセージが画面に表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを1つ1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 CF (31MB)
入力>> [ENTER] = 1 [E] 終了

実行する消去方法を選択してください。

[1] 簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数: 指定)
[2] 推奨方式 (DoD方式-米国防総省準拠-で上書き消去 回数: 3回)
[3] 他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1] or [ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3] 他の方法を選択 [E] 終了

簡易消去のデータを選択してください。

入力>> [1] or [ENTER] 0x00 [2] 0xFF [3] 0xE5 [4] 0xF6

簡易消去 (0x00) パターンを、選択したサイクル数 実行します
1から9の数字キーで選択してください。

入力>> [ENTER] 1 サイクル [1]-[9] サイクル指定 [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

サイクル数（上書き回数）を設定します。

1サイクルの場合はキーボードの[ENTER]を、

サイクル数を指定する場合はサイクル数に該当する数値をキーボードの[1]~[9]から選択して押します。

消去対象を再選択する場合はキーボードの[BackSpace]を押します。(消去対象の選択からやり直しになります)

終了する場合はキーボードの[E]を押します。

14ページの[7.消去記録（ログ）の保存を設定します]へ続きます。

パソコンをまるごと完全抹消する

推奨方式の場合

[5.完全抹消方法を設定します]で[2 推奨方式]を選択すると、
以下のようなメッセージが画面に表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを1つ 1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 CF (31MB)
入力>> [ENTER = 1] [E]終了

実行する消去方法を選択してください。

[1] 簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)
[2] 推奨方式 (DoD方式-米国国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)
[3] 他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1]or[ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3] 他の方法を選択 [E]終了

ディスク・メディアの消去記録をディスク・メディアに保存しますか？

入力>> [S]保存 [ENTER]保存しない [BS]消去対象再選択 [E]終了

DoD方式（米国国防総省準拠）で消去を行います。

1回目を固定値で書き込み、2回目を補数で書き込み、3回目に“0 0”で書き込んだ後、ベリファイ（検証）を実施。

14ページの[7.消去記録（ログ）の保存を設定します]へ続きます。

パソコンをまるごと完全抹消する

他の方法を選択の場合

[5.完全抹消方法を設定します]で[3 他の方法を選択]を選択すると、以下のようなメッセージが画面に表示されます。

```
消去する対象ディスク・メディアを1つ 1から9の数字キーから選択してください。
[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 CF (31MB)
入力>> [ENTER = 1] [E]終了

実行する消去方法を選択してください。
[1] 簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)
[2] 推奨方式 (DoD方式-米国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)
[3] 他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1]or [ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3] 他の方法を選択 [E]終了

実行する消去方法を数字キーから選択してください
安全度 スピード
早い
[1]NCSC準拠方式 (回数:3回) *..... *****
[2]米陸軍準拠方式 (回数:3回) **..... *****
[3]NSA推奨方式 (回数:3回) ***..... *****
[4]DoD方式 (回数:3回+検証1回) ****..... *****
[5]米海軍準拠方式 (回数:3回+検証1回) *****. *****
[6]NCSC準拠方式*2 (回数:6回) *****. ***.....
[7]米空軍準拠方式 (回数:7回+検証1回) *****. **.....
[8]グートマン推奨方式 (回数:35回) ***** *.....
高い
入力>> [ENTER = 1] [E]終了
```

実行する消去方式をキーボードの数字キー ([1]~[8]) で選択します。

NCSC準拠方式を選択する場合はキーボードの[1]を押します。

米陸軍準拠方式を選択する場合はキーボードの[2]を押します。

NSA推奨方式を選択する場合はキーボードの[3]を押します。

DoD方式を選択する場合はキーボードの[4]を押します。(推奨方式と同様の方式です)

米海軍準拠方式を選択する場合はキーボードの[5]を押します。

NCSC準拠方式*2を選択する場合はキーボードの[6]を押します。

米空軍準拠方式を選択する場合はキーボードの[7]を押します。

グートマン推奨方式を選択する場合は[8]を押します。

終了する場合はキーボードの[E]を押します。

パソコンをまるごと完全抹消する

他の方法を選択 各消去方式について

米海軍準拠方式、米空軍準拠方式、米陸軍準拠方式、NCSC準拠方式、NCSC準拠方式×2回、NSA推奨方式、グートマン推奨方式の中より選択した方式で消去を行います。

各消去方法を1回とし、指定したサイクルを実行する方法です。

選択した値にて上書き消去、上書き回数は任意の指定回数	簡易方式
DoD方式(米国防総省準拠)で上書き、上書き回数3回+検証1回	推奨方式

	消去方式	書き込み/検証パターン	スピード	安全度
1	NCSC 準拠方式	上書き回数:3回		
2	米陸軍準拠方式	上書き回数:3回		
3	NSA 推奨方式	上書き回数:3回		
4	DoD方式	上書き回数:3回+検証1回		
5	米海軍準拠方式	上書き回数:3回+検証1回		
6	NCSC 準拠方式x2回	上書き回数:6回		
7	米空軍準拠方式	上書き回数:7回+検証1回		
8	グートマン推奨方式	上書き回数:35回		

上記の上書き回数と表示されているものは

00、FF、E5、F6のデータを順番に固定値の回数分繰り返して実行します。

検証	最後の書き込みの際に値が正しく書き込まれたかどうかを調べる作業
NSA	The National Security Agency (米国家安全保障局)
NCSC	The National Computer Security Center (米国家コンピュータセキュリティセンター)
DoD方式 (米国防総省準拠)	1回目を固定値で書き込み、2回目を補数で書き込み、3回目に"00"で書き込んだ後、ベリファイ (検証) を実施。
グートマン推奨方式	グートマン(Gutmann)が1966年に発表した論文で提唱した消去方式。RLL (Run Length Limited) やMFM(Modified FM)といった磁気媒体上のデータエンコーディング方式 (フォーマット方式) を分析し、データの痕跡が最も残りにくい上書きデータを理論的に算出している点に特徴がある。

パソコンをまるごと完全抹消する

他の方法を選択 安全性と消去速度について

書き込み回数が少ないほど処理時間は短くなりますが、安全性は劣ります。

書き込み回数が少ないとセクタ間にデータが残り、完全に全データが消去できない場合があります。

書き込み回数を多くし、検証等を行うほど正確にデータの消去ができますが、書き込み回数が増えるため処理には時間がかかります。

パソコンをまるごと完全抹消する

7. 消去記録（ログ）の保存の設定をします

[6.各抹消方法の操作手順]で各設定を行うと、以下のようなメッセージが画面に表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを一つ 1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 CF (31MB)
入力>> [ENTER = 1] [E]終了

実行する消去方法を選択してください。

[1]簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)
[2]推奨方式 (DoD方式-米国国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)
[3]他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1]or [ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3]他の方法を選択 [E]終了

簡易消去のデータを選択してください。

入力>> [1]or [ENTER] 0x00 [2] 0xFF [3] 0xE5 [4] 0xF6

簡易消去 (0x00) パターンを、選択したサイクル数 実行します。

1から9の数字キーで選択してください。

入力>> [ENTER]1サイクル [1]-[9]サイクル指定 [BS]消去対象再選択 [E]終了

ディスク・メディアの消去記録をディスク・メディアに保存しますか？

入力>> [S]保存 [ENTER]保存しない [BS]消去対象再選択 [E]終了

ディスク・メディアの消去記録（ログ）の保存の有無を選択します。

ディスク・メディアの消去記録を保存する場合はキーボードの[S]、
保存しない場合はキーボードの[ENTER]、
消去対象を再度選択し直す場合はキーボードの[BackSpace]を押します。
(消去対象の選択からやり直しになります)

終了する場合はキーボードの[E]を押します。

パソコンをまるごと完全抹消する

8. 消去記録（ログ）を保存するディスク・メディアの設定をします

消去記録（ログ）の保存先を設定

[7.消去記録（ログ）の保存の設定をします]で[S 保存]を選択すると、以下のようなメッセージが画面に表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを1つ1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 CF (31MB)
入力>> [ENTER = 1] [E] 終了

実行する消去方法を選択してください。

[1] 簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)
[2] 推奨方式 (DoD方式-米国国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)
[3] 他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1]or [ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3] 他の方法を選択 [E] 終了

簡易消去のデータを選択してください。

入力>> [1]or [ENTER] 0x00 [2] 0xFF [3] 0xE5 [4] 0xF6

簡易消去(0x00)パターンを、選択したサイクル数 実行します。

1から9の数字キーで選択してください。

入力>> [ENTER] 1サイクル [1]-[9] サイクル指定 [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

ディスク・メディアの消去記録をディスク・メディアに保存しますか？

入力>> [S] 保存 [ENTER] 保存しない [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

消去記録を保存するディスク・メディアを選択してください。

[1] FD
[2] ST3808110AS (80000MB)
入力>> [ENTER = 1] [N] ログ保存しない [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

パソコンに接続されているディスク・メディアのモデル名、容量が表示されます。

(消去対象として選択済みのディスク・メディアは表示されません)

消去記録（ログ）を保存するディスク・メディアの選択をします。

キーボードの数字キー（[1]～[9]）を押して、消去記録（ログ）を保存するディスク・メディアの選択をします。

消去記録（ログ）を保存しない場合はキーボードの[N]、

消去対象を再度選択し直す場合は[BackSpace]を押します。（消去対象の選択からやり直しになります）

終了する場合にはキーボードの[E]を押します。

消去記録（ログ）の保存を行わない場合は、20ページの手順へ進んでください。

パソコンをまるごと完全抹消する

消去記録（ログ）の保存先が使用できない場合

[8.消去記録（ログ）を保存するディスク・メディアの設定をします]で、ディスク・メディアを選択後、そのディスク・メディアが使用可能か判定します。

判定の結果、使用不可エラーが発生した場合、

[ログ保存先のディスク・メディアが使用できません。書き込み可能なディスク・メディアをセットして下さい。]と表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを1つ1から9の数字キーから選択してください。

```
[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 CF (31MB)
入力>> [ENTER = 1] [E] 終了
```

実行する消去方法を選択してください。

```
[1] 簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)
[2] 推奨方式 (DoD方式-米国国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)
[3] 他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1]or [ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3]他の方法を選択 [E] 終了
```

簡易消去のデータを選択してください。

```
入力>> [1]or [ENTER] 0x00 [2]0xFF [3]0xE5 [4]0xF6
```

簡易消去 (0x00) パターンを、選択したサイクル数 実行します。

1から9の数字キーで選択してください。

```
入力>> [ENTER] 1サイクル [1]-[9]サイクル指定 [BS]消去対象再選択 [E] 終了
```

ディスク・メディアの消去記録をディスク・メディアに保存しますか？

```
入力>> [S] 保存 [ENTER] 保存しない [BS] 消去対象再選択 [E] 終了
```

消去記録を保存するディスク・メディアを選択してください。

```
[1] FD
[2] ST3808110AS (80000MB)
[3] Flash Disk (4101MB)
入力>> [ENTER = 1] [N] ログ保存しない [BS] 消去対象再選択 [E] 終了
mount: Invalid argument
ログ保存先のディスク・メディアが使用できません。書き込み可能なディスク・メディア
をセットしてください
入力>> [ENTER] 再試行 [BS] 消去記録保存先再選択 [N] ログ保存しない [E] 終了
```

再試行する場合はキーボードの[ENTER]を押します。

消去記録（ログ）の保存先を再選択する場合はキーボードの[BackSpace]を押します。

消去記録（ログ）の保存をしない場合はキーボードの[N]を押します。

終了する場合はキーボードの[E]を押します。

パソコンをまるごと完全抹消する

消去記録（ログ）の保存先の容量が足りない場合

消去記録（ログ）の保存を選択の際に消去記録（ログ）の保存先に保存に必要な20kb以上の空き容量がなければ、[ログ保存先のディスク・メディアに20kb以上の空き容量が必要です。]と画面にメッセージが表示されます。

再試行する場合はキーボードの[ENTER]を押します。

（選択したディスク・メディアを、空き容量のあるディスク・メディアに差し替えた場合）

ドライブの再選択する場合にはキーボードの[BackSpace]を押します。

消去記録（ログ）を保存しない場合はキーボードの[N]を押します。

終了する場合はキーボードの[E]を押します。

パソコンをまるごと完全抹消する

9. 消去記録（ログ）のファイル名を設定します

消去記録（ログ）のファイル名を設定

[8.消去記録（ログ）を保存するディスク・メディアの設定をします]で保存するディスク・メディアを設定すると、以下のようなメッセージが画面に表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを1つ1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 CF (31MB)
入力>> [ENTER = 1] [E] 終了

実行する消去方法を選択してください。

[1] 簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)
[2] 推奨方式 (DoD方式-米国国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)
[3] 他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1]or [ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3] 他の方法を選択 [E] 終了

簡易消去のデータを選択してください。

入力>> [1]or [ENTER] 0x00 [2] 0xFF [3] 0xE5 [4] 0xF6

簡易消去 (0x00) パターンを、選択したサイクル数 実行します。

1から9の数字キーで選択してください。

入力>> [ENTER] 1サイクル [1]-[9] サイクル指定 [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

ディスク・メディアの消去記録をディスク・メディアに保存しますか？

入力>> [S] 保存 [ENTER] 保存しない [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

消去記録を保存するディスク・メディアを選択してください。

[1] FD
[2] ST3808110AS (80000MB)
[3] Flash Disk (4101MB)
入力>> [ENTER = 1] [N] ログ保存しない [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

ログファイル名を入力してください。未入力のまま[ENTER]キーを押すと

ファイル名が"eraselog.txt"となります。ファイル名には半角英数字と

一部の半角(ハイフン、アンダーバー、ドット)のみ使用できます

入力>>■

ログファイル名を入力します。

未入力のまま[ENTER]キーを押すとファイル名が" eraselog.txt"となります。

ファイル名には半角英数字と一部の半角記号（ハイフン、アンダーバー、ドット）のみが使用できます。

パソコンをまるごと完全抹消する

消去記録（ログ）のファイル名の上書き保存の確認

消去記録（ログ）を保存するディスク・メディアに同じ名前のファイルがある場合、
[既に同じ名前のファイルが存在します。]と画面にメッセージが表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを1つ1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 CF (31MB)
[3] Flash Disk (4101MB)
入力>> [ENTER = 1] [E] 終了

実行する消去方法を選択してください。

[1] 簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)
[2] 推奨方式 (DoD方式-米国国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)
[3] 他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1]or [ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3]他の方法を選択 [E] 終了

簡易消去のデータを選択してください。

入力>> [1]or [ENTER] 0x00 [2] 0xFF [3] 0xE5 [4] 0xF6

簡易消去 (0x00) パターンを、選択したサイクル数 実行します。

1から9の数字キーで選択してください。

入力>> [ENTER] 1サイクル [1]-[9] サイクル指定 [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

ディスク・メディアの消去記録をディスク・メディアに保存しますか？

入力>> [S] 保存 [ENTER] 保存しない [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

消去記録を保存するディスク・メディアを選択してください。

[1] FD
[2] ST3808110AS (80000MB)
[3] Flash Disk (4101MB)
入力>> [ENTER = 1] [N] ログ保存しない [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

ログファイル名を入力してください。未入力のまま[ENTER]キーを押すと
ファイル名が“eraselog.txt”となります。ファイル名には半角英数字と
一部の半角(ハイフン、アンダーバー、ドット)のみ使用できます

入力>>eraselog.txt

既に同じ名前のファイルが存在します。

入力>> [W] 上書き保存 [BS] ファイル名の変更

上書き保存する場合はキーボードの[W]を押します。

ファイル名を変更する場合にはキーボードの[BackSpace]を押して、変更したファイル名を入力し直します。

パソコンをまるごと完全抹消する

10. 消去設定の内容確認をします

消去方法、消去記録（ログ）の各設定を終えると、消去の実行確認メッセージが画面に表示されます。

消去する対象ディスク・メディアを1つ 1から9の数字キーから選択してください。

[1] ST3808110AS (80000MB)
[2] IC1210 OF (31MB)
入力>> [ENTER = 1] [E] 終了

実行する消去方法を選択してください。

[1] 簡易消去 (選択した値にて上書き消去 回数:指定)
[2] 推奨方式 (DoD方式-米国防総省準拠-で上書き消去 回数:3回)
[3] 他の方法を選択 (NSA推奨方式・米海軍準拠方式など)
入力>> [1]or[ENTER] 簡易消去 [2] 推奨消去 [3]他の方法を選択 [E] 終了

簡易消去のデータを選択してください。

入力>> [1]or[ENTER] 0x00 [2]0xFF [3]0xE5 [4]0xF6

簡易消去 (0x00) パターンを、選択したサイクル数 実行します。

1から9の数字キーで選択してください。

入力>> [ENTER]1サイクル [1]-[9]サイクル指定 [BS]消去対象再選択 [E] 終了

ディスク・メディアの消去記録をディスク・メディアに保存しますか？

入力>> [S]保存 [ENTER] 保存しない [BS]消去対象再選択 [E] 終了

消去記録を保存するディスク・メディアを選択してください。

[1] FD
[2] ST3808110AS (80000MB)
[3] Flash Disk (4101MB)
入力>> [ENTER = 1] [N]ログ保存しない [BS]消去対象再選択 [E] 終了

ログファイル名を入力してください。未入力のまま[ENTER]キーを押すと
ファイル名が“erase_log”となります。ファイル名には半角英数字と
一部の半角記号(ハイフン、アンダーバー、ドット)のみ使用できます。

入力>> erase_log.txt

“簡易消去 (0x00)”を 1 サイクル実行します。

入力>> [Y]or[ENTER]実行 [BS]消去記録保存先再選択 [E] 終了

設定した内容で完全抹消を実行する場合はキーボードの[Y]を押します。

消去対象を再選択する場合はキーボードの[BackSpace]を押します。

(消去対象の選択からやり直しになります)

終了する場合はキーボードの[E]を押します。

キーボードの[ENTER]を押すと、設定した内容で実行するキーボードの[Y]を押したことになります。

パソコンをまるごと完全抹消する

11. 最終確認画面の内容を確認します

[10.消去設定の内容確認をします]で[Y 実行]を選択すると、最終確認画面が画面に表示されます。
完全抹消を実行すると、取り消すことはできません。

選択されたディスク・メディアを以下の設定で消去します。スタート後の取り消しはできません。

```
Model=[I01210      CF] 31MByte
消去モード      : 簡易消去 (0x00)
消去回数        : 1 サイクル
クリップ領域    : クリップ領域無し
ログ保存        : erase log.txt
```

最終確認(スタートを選択すると消去開始します)

入力>> [S]or [ENTER] スタート [BS] 消去対象再選択 [E] 終了

最終確認画面には選択した消去対象のディスク・メディアとその容量、消去モード、消去回数、クリップ領域の消去の有無、ログ保存の有無が表示されます。

完全抹消を実行する場合はキーボードの[S]を押します。

消去対象を再選択する場合はキーボードの[BackSpace]を押します。

終了する場合はキーボードの[E]を押します。

キーボードの[ENTER]を押すと、完全抹消を実行するキーボードの[S]を選択することになります。

最終確認画面で完全抹消を実行しますと、途中で中断することはできません。

完全抹消前に必ず最終確認画面にて消去対象のハードディスクを確認してください。

尚、誤ってハードディスクを完全抹消した場合、弊社では一切の責任を負えませんのでご了承ください。

パソコンをまるごと完全抹消する

12. 完全抹消実行中

完全抹消実行中は

消去パターン上書き処理、検証処理ごとに経過時間、予想完了のメッセージが画面に表示されます。

```
選択されたディスク・メディアを以下の設定で消去します。スタート後の取り消しはできません。
```

```
Model=[1C1210 CF] 31MByte  
消去モード : 簡易消去 (0x00)  
消去回数 : 1 サイクル  
クリップ領域 : クリップ領域無し  
ログ保存 : erase.log.txt
```

```
最終確認(スタートを選択すると消去開始します)  
入力>> [S]or[ENTER]スタート [BS]消去対象再選択 [E]終了
```

```
-----  
<消去を開始します>  
ディスク・メディア消去中 (簡易消去 (0x00) 1/1)  
write (0x00).. 6/31MByte (19%) 経過 0:00:07 予想完了 0:00:34
```

```
選択されたディスク・メディアを以下の設定で消去します。スタート後の取り消しはできません。
```

```
Model=[1C1210 CF] 31MByte  
消去モード : DoD方式  
クリップ領域 : クリップ領域無し  
ログ保存 : erase.log.txt
```

```
最終確認(スタートを選択すると消去開始します)  
入力>> [S]or[ENTER]スタート [BS]消去対象再選択 [E]終了
```

```
-----  
<消去を開始します>  
ディスク・メディアを消去中 (DoD方式)  
Write (0xD9).. 完了/31MByte (100%) 経過 0:00:37  
Write (0xFF).. 完了/31MByte (100%) 経過 0:01:14  
Write (0x00).. 完了/31MByte (100%) 経過 0:01:50  
Verify (0x00).. 14/31MByte (45%) 経過 0:01:55 予想完了 0:02:26
```

完全抹消が終了すると予想完了時間が消えます。

パソコンをまるごと完全抹消する

13. 完全抹消の終了

完全抹消が完了すると、[消去完了しました。総作業時間]のメッセージが赤文字で出力されます。

```
選択されたディスク・メディアを以下の設定で消去します。スタート後の取り消しはできません。
```

```
Model=[IC1210    CF] 31MByte  
消去モード   : 簡易消去 (0x00)  
消去回数     : 1 サイクル  
クリップ領域 : クリップ領域無し  
ログ保存     : erase.log.txt
```

```
最終確認(スタートを選択すると消去開始します)
```

```
入力>> [S]or [ENTER] スタート [BS]消去対象再選択 [E]終了
```

```
<消去を開始します>
```

```
ディスク・メディア消去中 (簡易消去 (0x00) 1/1)  
write (0x00)... 完了/31MByte (100%) 経過 0:00:36
```

```
no error
```



```
消去完了しました。総作業時間 0:00:36
```

```
>> [ENTER]確認画面へ
```

確認画面を確認する場合はキーボードの[ENTER]を押します。

通常終了した場合はEND文字はみどり色で表示されます。

エラーがある場合はEND文字は赤色で表示されます。

パソコンをまるごと完全抹消する

14. 完全抹消が正常に行われたかを確認します

[13.完全抹消の終了]で[ENTER 確認画面へ]を選択すると、以下のような画面が表示されます。

```
HDD:1          : 21MByte 1ba f480H (chs 1009 1 62)
Model Number   : IC1210      CF
Serial Number   :
Firmware Rev   : 1.9E
|-----| +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F |----- ASCII |-----|
| 0000 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 0010 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 0020 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 0030 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 0040 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 0050 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 0060 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 0070 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 0080 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 0090 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 00A0 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 00B0 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 00C0 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 00D0 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 00E0 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
| 00F0 | 00 00 00 00 00 00 00 00 - 00 00 00 00 00 00 00 00 | .....|
(LBA:0x0/0xf47f Page:1)
入力>> [BS]前へ [ENTER]次へ [S]先頭セクタ [C]中央セクタ [L]最終セクタ [E]終了
```

選択した消去対象のディスク・メディアの型番・容量・シリアルナンバー・ファームウェア情報とのセクタダンプ画面が表示されます。同時に選択肢が表示されますので処理を選択してください。

セクタダンプ画面は1画面に256バイトずつ表示され、page1とpage2の合計512バイトで1セクタ分表示されます。先頭セクタ・中央セクタ・最終セクタが確認できます。

前ページへ移動する場合はキーボードの[BackSpace]を押します。

次ページへ移動する場合はキーボードの[ENTER]を押します。

先頭セクタへ移動する場合はキーボードの[S]を押します。

中央セクタへ移動する場合はキーボードの[C]を押します。

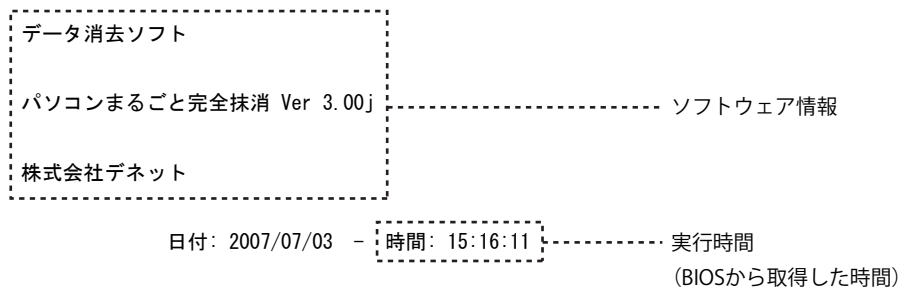
最終セクタへ移動する場合はキーボードの[E]を押します。

終了する場合はキーボードの[E]を押します。

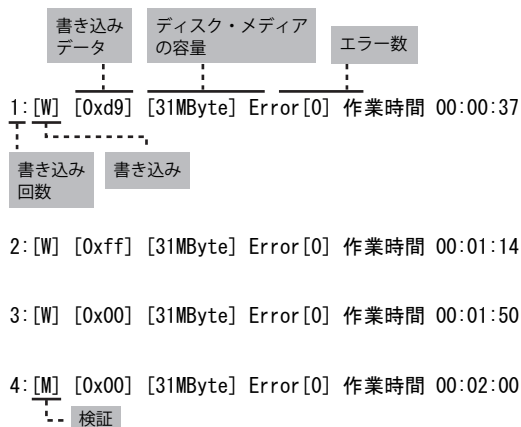
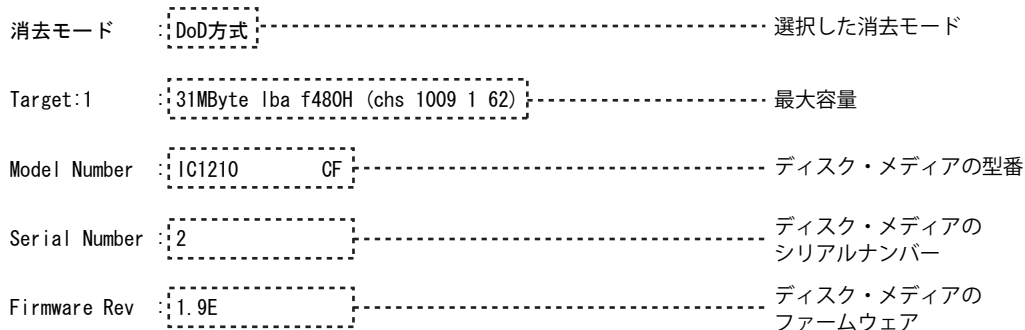
本ソフトウェア終了後は、CD-ROMをドライブから取り出し、パソコンの電源を切ってください。

パソコンをまるごと完全抹消する

15. 消去記録 (ログ) ファイルの表示について



以下の方式で、選択したディスク・メディアを消去しました。



No error 消去完了しました。

Q & A

Q：CDを入れても何も画面が表示されない

A：CDからの起動設定を行っていない場合、ソフトが起動しない可能性があります。
BIOSの起動設定にて、CD-ROMの優先順位を高くしてお試しください。
※BIOSの設定につきましては、機種によって操作方法が異なるため、
PCメーカーへお問い合わせください。

Q：USBメモリやメモリーカードなどの中身を抹消することはできますか？

A：各種外部メモリの抹消も可能です。
但し、抹消後に再度使用する場合はフォーマットが必要になります。
※プロテクトが行われているものは消去できない場合があります。

Q：大容量のハードディスクドライブも抹消できますか？

A：ビッグドライブ（137GB以上）対応です。

ユーザーサポート

問い合わせについて

お客様より頂いたお問い合わせに返信できないという事がございます。

問い合わせを行っているのにも関わらず、サポートからの返事がない場合、弊社ユーザーサポートまでご連絡が届いていない状態や、返信先が不明(正しくない)場合が考えられます。

FAX及びe-mailでのお問い合わせの際には、『ご連絡先を正確に明記』の上、サポートまでお送りくださいますようお願い申し上げます。

弊社ホームページ上から問い合わせの場合、弊社ホームページ上からサポート宛にメールを送ることが可能です。

弊社ホームページ

<http://www.de-net.com>

問い合わせページ

<http://www.de-net.com/pc3/user-support/index.htm>

『ご購入後のお問い合わせ』をお選びください。

直接メール・FAX・お電話等でご連絡の場合

○ソフトのタイトル・バージョン

例：「パソコンまるごと完全抹消」

○ソフトのシリアルナンバー

例：DEXXX-XXXX-XXXXXX

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例：WindowsXP SP2、WindowsUpdateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例：InternetExplorer 6

・パソコンの仕様

例：NEC XXXX-XXX-XX / Pentium III 1GHz / HDD 60GB / Memory 64MByte

○お問合せ内容

例：～の操作を行ったら、～というメッセージがでてソフトが動かなくなった

部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先(正確にお願い致します)

メールアドレス等送る前に再確認をお願いいたします。

無料ユーザーサポート

E-mail:ask99pc@de-net.com

Tel:048-640-1002

Fax:048-640-1011

サポート時間：10:00～17:30 (土・日、祭日を除く)

※通信料はお客様負担となります。

※パソコン本体の操作方法やその他専門知識に関するお問い合わせにはお答えできない場合があります。

※お客様のご都合による返品はできません。

※お問い合わせ内容によっては返答までにお時間をいただくこともあります。